

令和4年度 体力向上における各校の成果(中学校)

大野市

教育委員会

No	学校名		成 果
1	開成	中学校	<p>全国体力・運動能力調査の結果から、「体育の授業は楽しいですか」という質問で、肯定的な回答が男子97%、女子93%であった。昨年度まで低かった女子が90%を超えたことは、メタモジクラスルームを活用して振り返りを行い、達成感のある授業づくりを進めた成果であるとする。</p> <p>『保健体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかたり」すること』という質問で、「よくある」という回答が全国平均・県平均が10%に対して本校は40%であった。体育授業ではICTを毎時間活用して行ってきた成果であるとする。</p>
2	陽明	中学校	<p>持久走ではペース配分を意識させることで、1500m/1000mの計測はもちろん、マラソン大会においても各々が目標を立てて、前向きに取り組んでいる様子が見られた。</p> <p>動画を撮影し、自分の映像とお手本を比較し、相違点や共通点について振り返りを書くことで、生徒が自らの課題をより正確に把握することができた。</p>
3	上庄	中学校	<p>女子においては、多くの種目で県平均や全国平均を超えられなかったが、持久走で県平均を上回ったのは、取り組みの成果であろう。回数を重ねるごとにタイムは上がり、成果が感じられた。</p> <p>体育大会では、自分たちで感染症対策を意識した種目を考案させたことで、主体的に競技に参加することができた。</p> <p>運動の苦手な生徒も、動画を参考にすることで、自分なりの目標を持って意欲的に活動するようになった。</p>
4	尚徳	中学校	<p>体育の授業では生徒同士でよく考え、目的をもって意欲的に取り組む生徒が増えたように感じた。</p> <p>軟式野球部が合同チームで参加し、奥越大会で2位となった。スキー部がアルペン種目で全中スキー大会に出場した。</p> <p>タブレットを活用することで、これまで以上に運動時間を確保することができた。また、ビデオ機能を動きの習得に役立てることができた。</p>
5	和泉	中学校	<p>体全体を効率よく使ったの運動や柔軟性の大切さなど学習したことを普段の日常生活や部活動でも意識し主体的に活動できたことで、柔軟性が向上した。</p> <p>部活動でも技術や体力を大幅に向上させ、自己記録更新や県大会での上位入賞につながった。</p> <p>(体力テスト「長座体前屈」3年男子:44→54 2年男子:38.5→44.5 2年女子:41.0→51.0)</p>